



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 一憲
幹事 中村 満

クラブ会報委員長 渡邊 ヒロ子

副委員長 渡邊 昌俊

委員 牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

4月8日(金)のプログラム

- ・ ゲスト卓話
勝浦警察署長 遠藤順一氏

本日(4/15)のプログラム

- ・ 関正巳
会長エレクト PETS 報告

今後の例会プログラム

- ・ 4/22(金) 会員卓話
- ・ 4/29(金) 祝日のため休会
- 4/17(日) 館山RC 記念例会
- 4/24(日) 地区協議会

会長挨拶 関一憲会長

西川会員!!お帰りなさい。元気な姿を拝見できてうれしいです。

昨夜は大きな地震がありました。大多喜はだいぶ揺れましたが、勝浦はどうでしたか?うちの3人娘はそんな地震の中スヤスヤと眠っていました。

危機管理の甘さがちょっと心配です。(笑)

本日は「使命感」についてお話したいと思います。地震が起きてもうすぐ一ヶ月が過ぎようとしています。途方にくれた状態の中、震災地の人々は、足元の瓦礫を片付け始めました。家族を亡くしている役場の職員も、行方不明者の捜索を行っていました。放射能を浴びる危難の中、家族の反対を押し切って原発事故を食い止めようと必死に戦っている人もいます。その姿を見ていると涙が出てきました。本日は勝浦警察署長も来ています。おそらく使命感に燃えた行動をされているのだと思います。

私もロータリアンとして、どんな使命感として持ち、何をすべきなのか、深く考えなければならないと、私個人反省をした一ヶ月でした。



幹事報告 中村満幹事

館山RC様の記念例会の申し込み日が今日までです。連絡がない方が何人かいますので、宜しくお願いいたします。

西川佳璋 君

私は6年間人工透析で塩田先生にお世話になっておりましたが、一昨年の春、妻から『私の腎臓を一つあげるから、健康になってください』と言われました。初めは躊躇し悩みもりましたが、まだまだ仕事上の責任等を考え、その妻の申し入れに甘えることにしました。塩田先生のご紹介で、腎移植では最も権威のある東京女子医大で手術を受けることになりました。東京女子医大では月平均16人の手術症例があるそうです。2週間で8人ずつが退院している、そんな実例、結果に安心して手術を受けることができました。妻は、4~5日で元気に退院していき、私は1月中旬まで入院していました。今も毎日、免疫抑制剤をのんでおり、このせいで菌に対する抵抗力がなくなって非常に感染しやすくなるので、三ヶ月間は他人と接触することを避けなければなりません。詳しいお話はいずれまた... ということで、久しぶりに出席でき、皆さんにお会いできたことを大変嬉しく思っております。ご心配おかけしました。



ニコニコBOX (中村昇親睦委員長)

配偶者誕生日 高梨薫敏 君

妻は、4月2日生まれなのですが、
 どういう訳か、早生まれとして1年早く
 学校に上がり、初めは非常に苦労した
 そうです。今は、診療室で飼っていた
 猫三匹を自宅に引き取り、もともと
 自宅にいた猫三匹と犬一匹の世話に
 追われ、元気にやっております。



結婚記念日 西川佳璋 君

感謝の一言、何も言うことはありません。



結婚記念日 鈴木覺三郎 君

結婚52年目、子供は女ばかり3人、
 孫は男5人、女が1人です。そのうち
 一番上の孫は警察官で、警視庁の機動
 隊に入っていて、今、東北地方に派遣
 しております。



結婚記念日 君塚七郎 君

結婚51年目、ますます元気に
 がんばっていききたいと思います。



自主申告 渡辺昌俊 君

先週、会員増強ということでお話を
 させていただきました際に、アンケートを
 お願いしました。すでにFAXくださ
 った方もありますが、まだの方は、
 使命感持ってご提出くださるようお願い
 致します。



自主申告 高梨薫敏 君

今、診療室を建築中で、その仮診療室
 ということで、警察署の隣で何かと、
 お世話になっております。また、今回、
 関正夫先生に医療法人の登記をお願いして
 おります。名称は(私と息子の名の一文字
 ずつをとって)薫聖会といたしました。
 法人として活動始めるのは7月くらいに
 なるかと思います。もう1点は地震に関
 することです... 悲しいことばかりで
 すが、私のところではちょっと嬉しい



こともありました。長男が千葉で12階の
 マンションに住んでいるのですが、その
 嫁が妊娠中で、地震の時は大揺れで、
 しかもエレベーターが止まって歩いて
 12階を降りて避難したらしく、もう怖
 くていられないと勝浦に1週間ほど疎
 開してまいりまして、女房ともだいぶ
 親密になりました。被災された方は大
 変だと思いますが、自粛ムードにな
 って消費生活まで落ち込んではいけま
 せんので、お酒の呑む人は呑んで、ゴ
 ルフをやる方はしていただいて、が
 んばっていただきたい思います。

ゲスト卓話：勝浦警察署長 遠藤順一氏

第35代目の勝浦警察署長、遠藤順一
 氏より卓話をいただきました。県内で
 最も若い署長だそうです。

遠藤署長は、部下の警察官に、
 目はいつも上司(自分)ではなく、
 市民に向けられなければならない、
 と言っているそうです。



1. 道徳心をいかに向上させるか
 2. 地域との絆を大事にする
 3. あいさつが大切(あ・明く/い・いつも/さ・先に/つ・続ける)
 4. 小さな犯罪(万引き)を無くすこと
 5. 社会の秩序を乱す、小さな穴のうちに気づき埋めること、落書きを消すとかポイ捨てをやめさせる
 6. 夜中の赤信号、守るか守らないかの意識の向上
 7. 高齢化の激しい勝浦で、1人暮らしの高齢者の事故や孤独死を未然に防ぐための対応
 8. できない理由を言う前に、できることをする
- 熱弁の中で、遠藤署長が仰った“地域住民の立場に立った警察”の活動、被害に遭わないための町づくり、事故の未然防止(予防警察)への取り組みに、とても感銘を受けました。

最近、街中を白バイが走っているのを以前より頻繁に見るような気がしますが、そのためでしょうか？

出席報告 4 / 8 (金) 出席委員会 (関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
40名	26名	6名	8名	80%

欠席：浅野玄航・内田秀実・斎藤豊久・高橋奈緒美・高山裕紹 前田安彦 吉野裕子・渡邊保